

AO・HANI

Social Welfare Organization Since 1991 Nara City Japan

2010 September 62号

あおはにのしごと
暑かった夏が終わって…

生活支援部より
個別面談会を実施しています

連載コラム:支援スタッフの声

地域便り ヘルパーさん大募集

自然学校通信

理事長メッセージ:自転車ブーム

お知らせ 柚ノ川ランド・第二回柚ノ川寄席

あおはにのつぎ

暑がった夏が終わって……

木工

新しい治具じぐができました

サマーギフトの販売にあたり、商品を入れる木箱づくりを行うため、ギフトボックスの治具をつくりました。

細い釘を金槌でうつため、最初はそれで治具を壊すこともありましたが、そこはカヌー作りで鍛えた木工班、すぐに完成品がどんどん出来るようになりました。

そのボックスを見られた方の中から、引き出物の容器に使いたいとご注文をいただいたり、山梨のぶどう園から問い合わせが来たりしています。今後はもっとたくさんの方の利用者に慣れてもらうため、治具を増やしていきたいと思います。

また、日笠ワークスの設備が新しくなりました。断熱材入りの内壁、コンプレサー、集塵機、昇降盤、帯ノコ、など環境もよくなり、製材も正確にできます。



木工房内装



ギフトボックスの治具



ギフトボックス

製菓

チームの和ができてきました

製菓では、サマーギフトや沖縄総体クッキー、ハーブクラブのケーキセットなどの注文が増え、忙しい夏でした。

そんな中で利用者の自主性が芽生え、いまままで「ハイ」としか、返事をしなかったおとなしいIさんが「私もこんなケーキをつくりたい」と自分の意見をメッセージで伝えてくれるようになりました。

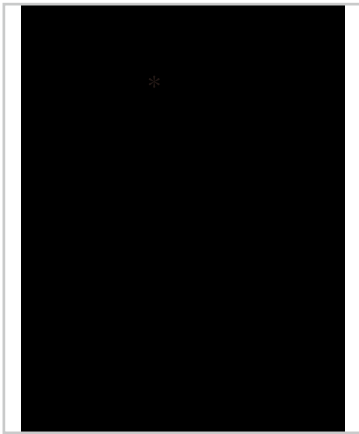
またTさんと同じようにおとなしかった、NさんやMさんも、今まで以上の仕事を求めるようになりました。

Yさんもケーキ作りに自信がつき、新たなマフィンに挑戦中です。製菓班には和が生まれ、美味しいケーキづくりを目指すチームになってきました。

おかげさまで、サマーギフトは完売いたしました。ありがとうございました。

ありがとうございます。

(*クランベリーマフィン)



Iさんのお手紙



サマーギフト



沖縄総体クッキー

ハーブクラブ

ハーブが元気です

夏の間はレストランで使用するハーブはすべてハーブクラブで採れるものが使用されます。特にこの間はフレッシュバジルが使い放題、たっぷり食べていただけます。テーブルのお花もハーブやブルーベリーに変わります。

ハーブクラブでの支援ですが、接客担当の利用者は忙しくなると、やはり緊張の裏返しで、お客様が接客態度を冷たく感じられる場合があります。そこで挨拶の徹



底から始め、接客の仕方などを何回もおさらいすることで、利用者の自信につなげ、余裕のある接客を指導していただきます。そして接客スタッフと厨房スタッフを入れ替え、特性の見直しを行い、生活支援も含め温かな雰囲気を出せるスタッフに育てたいと考えます。

夏休みの間、ハーブクラブでは家族連れのお客様がいつもにもまして多くご来店になり、定番の石窯料理を楽しんでいただきました。

セントラルキッチン

夏はお祭りが目白押し 「カレー、唐揚げ、 フライドポテト」

セントラルでは夏はイベントが多く、毎週土曜日の販売会などで利用者に店頭に立ってもらい、実践での接客などを体験してもらっています。一般のお客様に接するいい機会です。そこで言葉遣い、服装、応用力など就労にむけた訓練ができています。

就労移行ではトライアル雇用を経て定着されている方が1名、トライアルがもう少しで



夏祭り



実習の様子

終わり就労される方が1名、就労が決まった方が1名、面接を終え返事待ちの方が1名と進んできています

クラフト

仕事、余暇ともに 楽しんでいきます

余暇の取り組みとしてやっていた「金曜倶楽部」の発展として、土曜出勤の日マイクロスバスに乗り、プチ外出を行っています。行先は布目ダムや春日大社などですが、今後は利用者の要望に応じていきたいと思っています。

夏休みは実習生の受入れが始まりました。来られた方が解りやすいよう実習生ス



春日大社にて

ケジュールを作っています。クラフトでは作業の種類が豊富なため、重度の方から軽度な方まで対応できる作業があるのが特徴です。来所しても、作業に出れなかつたUさんも、少し落ち着かれ与えられた作業ができるようになりました。支援としてはこれから勝負です。

これからの時期、クラフトでは年末商品の製作に追われるようになりますが、ものづくりを通しての支援を元気に推し進めていきたいと思っています。

製パン

美味しい米粉パン 新しい拠点が増えました。



くまがしステーション

「アリカテッセナイーハトウヅ」、「西老春の家」に続き、あおはに米粉パンの拠点がまたできました。8月から、平群町道の駅「くまがしステーション」であおはに米粉パンの販売が始まったのです。パン工房のすぐ横にあるハーブクラブに出すのとは違い、一つ一つ袋にいれ、バーコードのついた製品表示シールをはり、出荷となります。今まで以上の忙しの中、時間との戦いである製パンは、暑さに負けず利用者も戦力として懸命に働いています。

今後、今の作業に慣れてきて余裕が生まれたら、利用者とともに「くまがしステーション」を見学にいき、自分たちの作ったパンがどのように売られているか感じてほしいと考えています。

『個別面談会を実施しています』

6月より入所施設利用者ご家族との個別面談会を実施しています。

現在、知的障害者福祉をとりまく制度や環境がどのように変化していくか予測を許さない状況ですが、そのようななかで足元を見つめ直し、今後、利用者支援をどのように構築して、いくのかを改めて考え、実践につなげるためです。

また今回は、利用者支援体制をより確かなものにするために、ケース担当者、施設長補佐、施設長の3人がチームとなってそれぞれの面談に臨んでいます。

利用者本人やご家族の思い、自宅での様子、



また、施設における生活や仕事の様子、スタッフとの関係等を改めて

伝え合い、あわせて意見交換を行ったこととお互いの距離がずいぶん近くなった気が

がします。

1時間程度の限られた時間ですが、膝を交えて話すこと、聴くこと、お互いの思いを知ること、いっしょに笑うこと

の大切さを強く感じるひと時でした。

『目からウロコがおちました』利用者に対するご家族の深い愛情を知ることができて本当に良かった等と感想を述べる新人職員今年の4月に入職にも貴重な経験となっています。

生活支援部長 山出哲史

カレンダーに採用されました

福祉フェア運営委員会の発行による2011年度のカレンダーの挿絵にあおはに会利用者の作品が採用されました。この秋の発売に向けて準備が進められています。ぜひお求めください。



連載コラム 支援スタッフの声

生活支援部の盛り上げ隊長

鈴木 康裕 平成16年7月入職

現在、クリエイト班のチーフとして、日中活動を支援している。「重度の方が多くなかなか一つでも支援によってできるようになったときの喜びは大きい、これがクリエイトでのやりがいです」と語る。

喜ばしいことにクリエイト班では出勤率が伸びてきているようだ。「なんとか出勤してもらえよう工夫を重ね、出勤した人には、スタッフがついて、なんらかの作業をしてみようようにしました」そんな取り組みのおかげか、Hさんの出勤率は、昨年は20%だったのが、今は80%を超えるようになった。クリエイト班にたずさわるまでは、鈴木スタッフにはアートの知識がなかったが、最近は芸術の勉強もしているという。

これからの夢は、もつと余暇活動をふくらませて、「青葉仁チャレンジャー」の「南中ソーラン」を素晴らしいダンシングチームにしたいそうだ。



「柚ノ川ランド」や「グリーンフェスタ」など、いつもイベントがある度に、司会といえど、鈴木スタッフの登場だ。持前の明るさで、盛り上げ方は絶品である。

鈴木スタッフはもともと子ども好きで、保育士の資格も持っている。以前勤めていた保育園が障害児童の受入れをやっていたことが、この世界へのきっかけになった。障害をもつ子どもたちが、日中はもちろんだが、それ以外の時間をどう過ごしているのか興味があり、入所施設を志願、青葉仁会にきて6年がたつ。



バンド演奏もするヤスボン君

地域便り

ヘルパーさん募集

ヘルパーとして働いて

吉住裕子



支援中の吉住さん

☆登録ヘルパーさん募集☆

お問い合わせ先 青葉仁会
TEL 0742-81-0420(担当東まで)



サービス提供責任者 目黒秀治

様々なヘルパーさんの笑顔と行動力に支えられています。午前中なら大丈夫・・・月に数回なら大丈夫等、働き方は選んで頂けます。経験のある方はもちろん、ない方もお気軽にお問い合わせ下さい。

今朝も3歳の次女が「ママ、今日は青葉仁さんマークだね。」とニッコリ。握手でタッチ！のスタートです。
私は地域支援部のヘルパーをさせて頂いて1年半になります。が、東奔西走、感動が一杯の毎日です。
プールで水遊び、あぜ道で虫捕り、公園で冒険ごっこ、時刻表とにらめっこして電車やバスの小旅行。カートを押してシヨッピング、ワーワー言いながらのスポーツ観戦、映画鑑賞。お風呂にゆつくり入ったり、一緒にお部屋の片づけ、楽しく語らいながらの調理。
OT・PTの付き添い等々。利用者の方々が、言葉・身振り・手振りを通して投げかけてくれる想いをキャッチできた時、同じ位置から物事を眺めて新

たな発見をした時、幸せな気持ちになれます。何よりも笑顔が最高です。
私には3人の子どもがいますが、時には手厳しい発言も含めて沢山のエッセンスを子どもたちからもらうてきました。そして今新たに、様々な瞳から心に響く大切なものをもらっています。
支援が終わり、ご家庭にお送りした時に、保護者の方とお話させて頂く際にも色々勉強になり、エネルギーを頂く事が多々あります。これからもうぞ宜しくお願いいたします。
本日私はある女性と「踊る大捜査線3」を観てきました。まさしくラストコメント「生きてるって素晴らしい」ですね。

自然学校通信

夏の日差しをたっぷり浴びたブルーベリーが収穫できました。



一昨年に3年もののブルーベリーの苗を植えました。今年から収穫を始めました。

ブルーベリーは熟れだすのに時間差があるため、夏の間毎日収穫してまいりました。今後自然学校農産物の柱になりそうです。ブルーベリー畑は斜面にあるため、平衡感覚が必要で、Tさん、Kさんの機能維持にも役立つています。

またハーブクラブに自然学校の野菜売場を作り、トマト、きゅうり、ナス、ミニトマト、ルッコラ、青じそ、まくわうり、ピーマンを売っています。加工品として、らっきょうも漬けました。

夏休みには、木津川市の障害をお持ちのお子様とご家族からイベントの依頼をうけ、トレッキング、ネイチャー観察、アウトドアアクキングで楽しんでいただきました。接待係として利用者も積極的にかかわっています。

もうすぐ、収穫の秋です。古代米の収穫が楽しい自然学校農業部隊です。



古代米

祝遷都
1300年
第24回

柚ノ川ランド

SOMANOKAWA LAND



あおはに利用者
オンステージ

コンサート
byお馴染みさん



新記録に挑戦
『あおはに
ギネス大会』



手づくりに挑戦
『体験工房
(木工など)』



自然と友達になろう
『野遊び教室』



あおはに再発見!
柚ノ川再発見!

開けてびっくり
『あおはにアート
作品展』



心をこめて『あおはに
オリジナル
製品』販売



子どもも大人も楽しい
『紙芝居』



地元食材&あおはに
オリジナル材料

『ちょっぴりこだわり
模擬店』



[日時] 平成22年 10月23日(土) 11時~15時

[会場] あおはに野外広場周辺

前売りの金券限り
一冊 1,500円
(100円お得です)

自転車ブーム

青葉仁会の職場は今、たいへんな自転車ブームに沸いている。それで大変なことは何かと言えば、これまで自転車など振り向きもしなかった人達までコミュニケーションはまず自転車ありきになってきたことだ。例えば、72歳になる就労支援部長まで過激な自転車仕様、つまりドロップハンドル、クロモリフレーム、手組みホイールの特注自転車をひっさげて挑戦してくるからだ。これはもう大変を過ぎて、ただの変だと言ってもよいかもしれない。この部長はもともと山岳部時代の先輩で私に「墜落のしかた」を教えてくれた恩師でもある。年齢はともかく、いまもなお正月には八ヶ岳に単独登山を繰り返ししている。それはだれも付き合わないからだと分かっている、その活力は老いたりと言えど、なかなかあなどれない挑戦者である。

刻々と牽制し合っているからだ。普段から隠れ練習、抜け駆けライディングなどは明白な隠し事でもある。つい先日、お嬢様育ちの主任の挨拶は「私、昨日ほんの90キロほど走ってまいりましたのホホホ」であった。一瞬沈黙する空気を察したのか「だつてこんな8月の猛暑の中、誰も付き合ってくれませんもの、ネエそうでしよう」と押しの手で技あり、強制的同意。福祉現場に携わる者のたしなみは「行くなんて聞いてなかった」、とは思っていても誰も顔にださないことだ。

さて私の家から東の端の施設までは32キロある。いったん峠を越えて下る標高差は約430メートルだ。自転車の実力はまだ1時間45分を切ることでできない。長い時間ではない15分縮めることがそれが問題なのだ。信号を無視し、歩道を通り走り、マンションの廊下を通り抜けるなどあらゆる努力を惜しんではいない。しかし峠にかかるのがつくりとスピードが落ち、青息吐息となってしまう。

立支援法の移行は、まだ平成24年3月まで猶予期間があるにも関わらず与党方針として早く自立支援法に移行させるべく、行政通達等による圧力をかけてくる。「弱い相手にやめよう強くないか、かつて民主党自らも「天下の悪法」と認めた言葉はどこへ行ってしまうのだろうか。それは障害者の福祉利用に様々の制約があり、弱者とされる障害者自身が制度から落ちこぼれるような障害者福祉法。また経営的にも基本報酬が従来の制度でもっとも安価であったC単価による最低ラインを大きく下回る給付費でしかない福祉制度。そのような制度によりこの坂道にある施設は赤字で経営的には青息吐息の自転車操業で走っている。地域福祉とは在宅福祉であつて、制度がしっかりしていなければ家族の負担は大きい、子殺しや一家心中のニュースが絶えないなか、障害者の家族においても我が子の面倒をみるのが自転車操業となっていないことを祈りたい。

部長は毎朝、誰も止めないままに早朝の4時に起きて、かつて都のあった地、牛車や官吏が悠然と歩いていたその地、平城宮跡で朝トレを繰り返している。ここでは今、平城遷都一三〇〇年を記念して「遷都祭」が開催されている。全国的には「せんと君」のキャラクターでアピールされているが、部長もまた朝早く祭事会場を走り回る「へんと君」でアピールしている。

その様な登り坂の道中に青葉仁会の通所施設がある。この施設は自立支援法による多機能型施設だ。つまり与党である民主党が選挙前の公約で「自立支援法」は天下の悪法である。よって「廃止」し「凍結」するとした制度による施設だ。しかし選挙が終わればばてのひらをかえして自立支援法を「後押しし、推進する」としてしまった。「子育て支援」や「高速道路無料化」などの公約違反については論議されるが、「障害者自立支援法」に対する公約違反はなんの論議もされない。それどころか自

青葉仁会理事長 柳原典俊



第二回 秋の杣ノ川寄席

大変ご好評をいただいた
『春の杣ノ川寄席』に引き続き、
みんなで一緒に笑いましょう！
楽しみましょう！
ご来場をお待ちしています。

日時 平成22年10月23日(土)

17時 開演(開演の1時間前から開場)

出演者 **笑福亭 瓶生・桂 春蝶**

場所 稲葉忠温邸 奈良市杣ノ川町681

※道沿いに『稲葉忠温記念自然園』のぼりを立てます。

◇ 木戸銭 千円(お茶・お菓子付)

※必ずお電話でご予約をお願いします。



笑福亭 瓶生さん



桂 春蝶さん

◇ご予約・お問い合わせ先 TEL 0742-81-0420 社会福祉法人 青葉仁会 ふれあい講座係まで

ハーブクラブ サイクリングステーション

ハーブクラブに自転車用のサービスステーションが出来ます。
ハーブクラブのある水間町はサイクリングロードとして最高の場所!!
ハーブクラブを基地にして気持ちのいいコースを走れます。
整備や休憩もOK!ご期待ください。



10月16日10時 オープニングセレモニーを開催

10月16日
オープン



作品介绍



大野 修 「仏像」

青葉仁会をご支援くださった方々

【会員】

1口

前田定雄 横田源隆
満生五郎 満生満智子
満生亨 内田正則
三島泰明 舟越紘英
前田洋 志賀寛
村田聡 鈴木数夫
牧田統 寺崎由子
清水良治 国松浩史
渡辺瑠璃子 谷森俊亮
松本陽一 井本悦子
藤野真弓 榊原典俊
榊ひかり

3口

乾武

【寄附】

10万円以上

光専寺
梅山秀樹

※ご支援ありがとうございました。
心から御礼申し上げます。